

平成30年度「学校評価」地域アンケートの結果とその対応について

秋田県立雄物川高等学校

1 アンケート実施時期

平成30年12月

2 質問項目の設定理由

本校では、今年度の目標を「元気な郷土づくりを支える人材の育成」とし、生徒の豊かな心を育み、社会的自立を支援する学校を目指して特色ある取組を行って参りました。特にインターンシップや生徒会の諸活動、福祉コースの介護施設実習、保育園実習等の実習授業においては、地域の皆様の温かいお心遣いと御協力により、生徒は多くのことを学び成長しております。

また、秋田県では「こころ 姿 振る舞い さわやか高校生」運動を展開しております。本校では、PTAとの連携による「登校時一声運動」や定期的な校外巡視などを行い、あいさつの励行や校外における生活の指導にも力を入れております。しかし、職員による巡回指導にも限界があり、校外における生徒の状況については十分に把握できないのも実状であり、校外における生徒の状況について学校周辺にお住まいの皆様にお伺いいたしたく、昨年に引き続きアンケートを実施することにいたしました。

3 アンケート協力依頼先（依頼数）

スーパーセンタートラスト（5）	マックスバリュ雄物川店（3）
横手市商工会雄物川拠点センター（4）	雄物川町体育館（2）
里見郵便局（3）	なをこそばや（1）
羽後交通（4）	平鹿自動車学校（4）
横手自動車学校（4）	横手明峰中学校（10）
平鹿中学校（5）	十文字中学校（5）
東由利中学校（5）	雄物川小学校（5）

4 アンケート回収率

民間企業等	86.7% (26 / 30名)		
小中学校職員	80.0% (24 / 30名)	全体	83.3% (50 / 60名)

5 アンケート集計結果

次ページ掲載

6 アンケート結果の4カ年比較

A+B = 「立派、さわやか、指導が行き届いている」 + 「概ね良い、指導がまずまず浸透している」

C = 「以前と変わらない、生徒にばらつきがある」 D = 「あまり良くない」

問5のCは、「指導があまり浸透していない」という項目

単位 (%)

	問1 (生徒全般)		問2 (挨拶)		問3 (服装)		問4 (行動)		問5 (生徒指導)	
	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
H27	98	2	89	11	98	2	94	5	100	0
H28	88	12	84	16	91	9	94	6	98	0
H29	93	7	89	9	96	4	93	7	100	0
H30	96	4	88	12	100	0	88	10	98	2

7 自由記述欄にご記入いただいた内容

(1) 企業等

- 保護者の送迎を待っている時など、勉強をしている生徒さんが多く、立派だと思っています。
- イトインコーナーで勉強したり、友達と楽しげに語らっている姿を見る機会が多くなりました。
- 送迎を利用した時のあいさつもとても感じが良いです。問題となるような行動は見られません。
- は・は・は祭ではバレー部の皆さんから感謝のご挨拶をいただき、ありがとうございました。翌日の会場のゴミ拾いもしていただき、感謝しております。今後とも地域行事等にご協力いただければ、有難いです。
- 挨拶について、良い方、そうでない方がおります。
- 自動車学校への入校を早くしてほしい。条件も少し緩和してもらいたい。
- 生徒指導が少し厳しすぎるイメージがある。

(2) 小学校・中学校

- 登下校の様子などから、素朴に素直に育っているように感じられます。バレー部はもちろん吹奏楽部等の活躍があって、地域も元気をもらえる気がします。
- たまに地域で会いますが、しっかりあいさつしてくれます。
- 卒業生との会話から、目標を持って楽しく学校生活を送っている様子が伝わってきます。雄物川高校の先生方のきめ細やかな指導に感謝します。
- 各種大会等で会う機会がありますが、あいさつや態度も大変立派で明るい印象を受けます。
- 学習に協力していただいた際、小学生への対応、大人への対応、どちらもしっかりしていた。積極的に地域に出て、様々な交流活動をしていると感じる。
- 本校の卒業生でなくても、定期演奏会には、吹奏楽部の皆さんが手伝いに来てくれて、感謝しています。一人一人が仕事を見つけて動いてくれ、日頃の指導の素晴らしさを感じます。
- プールの監視やスイカ栽培、販売など、仕事に前向きな表情で取り組み、責任をもってやり遂げようとする意欲が感じられました。
- 来校した時のあいさつ、言葉遣い、ふるまいがすべて良い。今年度から勤務している職員もほめてくれました。
- 女子の前髪など中学校では徹底できなかったことがしっかり生徒に浸透していて、とても好感が持てます。中学生が目指す高校生像を示してほしいと期待しています。
- 中学校に来た祭、携帯の使い方に配慮してくれたらありがたいと思います。
- 学校に訪問した際に、職員室にあいさつに来て、用件を伝える生徒と、そうでない生徒がいます。
- 情報端末についてはどのようにご指導なさっているのでしょうか。学校では集めて非常時以外は使用できないと伺っております。家では9時以降は連絡を取り合わない、クラスや学年で決めている高校もあるようです。

8 アンケート結果に対する本校の対応

どの設問についても、ほぼ例年通りで、ほぼ9割以上の方から「A」・「B」の評価をいただきました。本校の教育活動の全体の方向性としては、今後も継続していきたいと思っております。男子バレーボール部や吹奏楽部をはじめとする部活動や、家庭クラブ、JRC、生徒会の地域に係わる活動が、多くの方々から良い評価をいただいております。

一方で、携帯電話の使用マナーや、あいさつに関するばらつきに関するご指摘もいただいております。携帯電話に関しましては、登校後に預かり、放課後まで預かり、家庭連絡用として放課後の使用を認めております。SNSに関しましては、不適切な使用のないよう、パスカルタイムや生徒指導を通して指導しております。あいさつについては、すべての場面においてしっかりできるよう、根気強く指導して参ります。社会におけるコミュニケーションの第一歩としての挨拶の必要性、意義を伝える機会を増やしていきたいと思っております。また、保護者の方にも参加していただく「登校時一声運動」を実施し、学校からだけでなく、地域の方々からも見守られているということを学ばせていくことも考えております。

日頃から、部活動やボランティア活動等において、地域の方々から多大なご支援をいただいております。生徒達の人間の成長につながる経験を与えていただいております。今後とも、皆様から寄せられるお声にしっかりと耳を傾け、よりよい学校づくりを進めてまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。